a journal

NAGOYAKINEMA NEU

ナゴヤキネマ・ノイ

11 2026 月号

〒464-0850
名古屋市千種区今池 1-6-13
今池スタービル 2F
Tel.052-734-7467
https://nk-neu.com

11月の定休日
※11/3 以外の火曜
11/10・17・24・12/1

毎月発行

RESERVATION

■各作品の 10 日前から上映 1 時間前までは公式サイトからプリペイドで席のご予約ができます。

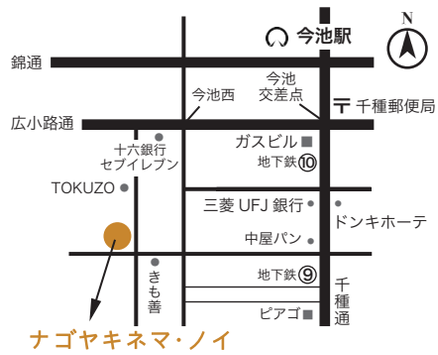
■現金でのご購入、特別鑑賞券、ご招待券をご使用の方は、10 日前から当日までの窓口受付 (座席指定) をご利用ください。

PLATFORM

公式サイト　公式 Facebook　公式 X @nkn_2024　公式 Instagram @nkn_2024

上映スケジュール表は２面をご覧ください

ACCESS



▶ 地下鉄今池駅⑨・⑩番出口より徒歩３分
▶ 今池スタービル２F (契約駐車場なし)

10.31 (土) ～ 11.13 (金)『マイ・リトル・クイーンズ』

監督 : クラウディア・レイニケ　(2024 年 104 分)



10.31 (土) ～ 11.20 (金)



生誕 120 年 ジョン・ヒューストン特集

《4 作品・入替》

①アフリカの女王 4Kレストア (1951年 106分)
②赤い風車 4Kレストア (1952年 120分)
③ワイズ・ブラッド (1979年 107分)
④火山のもとで (1984年 112分)

11.7 (土) ～ 12.4 (金)『東京上空 300 メートル』

監督 : 大塚敦　(2026 年 110 分) ※11/28(土)～30(月) は休映。
●舞台挨拶 :11 月 7 日 (土)
大場弘行さん (毎日新聞社「特権を問う取材班」記者)



11.14 (土) ～『京都 ALS 患者嘱託殺人事件』

監督:二村真弘　(2026年 98分)
●舞台挨拶:11月21日(土)二村監督　※日本語字幕付版にて上映。



11.14 (土) ～ 20 (金)『まさゆめ』

監督:吉開菜央　(2026年 110分)





11.7 (土) ～ 13 (金) イメージフォーラム・フェスティバル 2026 《12 プログラム・入替》

●アフタートーク :11 月 8 日 (日) ④K2 ゲスト : 新谷和輝さん (ラテンアメリカ映画研究者)

11/7(土)マリー・ロジエ特集
①G「ピーチズ・ゴーズ・バナナズ」(74分)
②Ⅰ「我がメーキャップを喰らえ！」他 (計68分)

11/8(日)
③K1「サン・カルテット(4部作)」(計61分)
④K2 ロス・イングラビドス「狂乱の大地」他 (計69分)

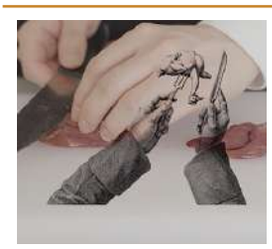
11/9(月)東アジア・エクスペリメンタル・コンペティション
⑤A 東アジアEC1「緑の親玉」他 (計94分)
⑥B 東アジアEC2「新しいおうちにチュ！」他 (計90分)

11/11(水) 東アジア・エクスペリメンタル・コンペティション
⑦C 東アジアEC3「蟲のいどころ」他 (計86分)
⑧D 東アジアEC4「ちいさなうりぼう」他 (計85分)

11/12(木)
⑨E 東アジアEC5「オー・バレンタイン」(92分)
⑩F ジャパン・エクスペリメンタル「眠る眼」他 (計109分)

11/13(金)
⑪J 旧ユーゴ地下シネクラブ「アントニーの壊れた鏡」他 (計81分)
⑫M 幻視の21世紀「存在するグレッグ」他 (計85分)

11.14 (土) ～ 20 (金) Fire in Water 永田康祐映像作品集 《2プロ・日替》



●舞台挨拶 :11 月 14 日 (土) 永田監督

Aプロ(計78分)
○Fire in Water (2025年)
○Fish of Empire (2025年)
○Suddenly This Overview (2026年)

Bプロ(計76分)
○Purée (2020年)
○鮭になる (2024年)
○Translation Zone (2019年)

11.21 (土) ～『百姓、わらう。』

監督監督 : 柴田昌平　(2026 年 138 分)
●舞台挨拶 :11 月 22 日 (日)23(月) 柴田監督



11.21 (土) ～『３６７０』

監督 : パク・ジュンホ　(2025 年 124 分)



11.21 (土) ～ 27 (金)『トゥ・ランド』

監督 : ハル・ハートリー　(2025 年 74 分)



11.28 (土) ～『ブロークン・ヴォイス』

監督 : オンドジェイ・プロヴァズニーク　(2025 年 106 分)





11.28 (土) ～ 30 (月) 日本最終上映 フレディ・M・ムーラー "マウンテン・トリロジー"

《3作品・日替》

①山の焚火 (1985年 119分)
②我ら山人たち われわれ山国の人間が山間に住むのは、われわれのせいではない (1975年 112分)
③緑の山 (1990年 134分)

上映作品提供 : ブエナワイカ、flickk、Stranger、大塚敦、毎日新聞社、ポレポレ東中野、イメージフォーラム、東風、ブライトホース・フィルム、アギィ、プロダクション・エイシア、ショートレッグフィルム、ポッシブルフィルムズ、村山章、クレプスキュール フィルム、シネマ サクセション、ノーム

11 月上映スケジュール表

※11/10・17・24・12/1(火)は休館です。
※11/3(火・祝)は開館いたします。

10/31(土) ～ 11/6(金)

	10/31(土)	11/1(日)	2(月)	3(火・祝)	4(水)	5(木)	6(金)
11:00	『100 万カットの記憶』						
12:50	『マイ・リトル・クイーンズ』						
14:50	③ワイズ・ブラッド	①アフリカの女王	④火山のもとで	②赤い風車	③ワイズ・ブラッド	①アフリカの女王	④火山のもとで
16・17 時台	17:00④火山の	16:50②赤い風	17:00③ワイズ	17:10①アフリカ	17:00④火山の	16:50②赤い風	17:00③ワイズ
19:10	オーソン・ウェルズ × フランツ・カフカ 『審判　4K レストア版』						

11/7(土) ～ 13(金)

	11/7(土)	8(日)	9(月)	11(水)	12(木)	13(金)
10:30	『東京上空 300 メートル』　※11/8(日)～13(金) は 11:00					
13:00	③ワイズ・ブラッド	④火山のもとで	①アフリカの女王	②赤い風車	③ワイズ・ブラッド	④火山のもとで
15:20	『マイ・リトル・クイーンズ』					
17:40	①G マリー・ロジエ長編	③K1 サンカルテット	⑤東アジア E.C.1	⑦東アジア E.C.3	⑨東アジア E.C.5	⑪J 旧ユーゴ地下シネクラブ
19 時台	19:10②ＩＭ・ロジエ短編	19:00④K2イングラビドス	19:30⑥東アジア E.C.2	19:30⑧D 東アジア E.C.41	19:30⑩Ｆジャパン E.	19:10⑫M幻視の 21 世紀

11/14(土) ～ 20(金)

	11/14(土)	15(日)	16(月)	18(水)	19(木)	20(金)
11:00	『京都 ALS 患者嘱託殺人事件』					
12:50	『東京上空 300 メートル』					
15:00	『まさゆめ』					
17:10	Fire in Water A	Fire in Water B	Fire in Water A	Fire in Water B	Fire in Water A	Fire in Water B
19:00	①アフリカの女王	②赤い風車	③ワイズ・ブラッド	④火山のもとで	①アフリカの女王	②赤い風車

11/21(土) ～ 27(金)

	11/21(土)	22(日)	23(月・祝)	25(水)	26(木)	27(金)
10:30	『百姓、わらう。』					
13:00	※11/22(日)・23(月) は 13：30 『京都 ALS 患者嘱託殺人事件』					
14:50	※11/21(土)～23(月) は 15：20 『３６７０』					
17:10	※11/21(土)～23(月) は 17：40 『東京上空 300 メートル』					
19:15	※11/21(土)～23(月) は 19：45 ハル・ハートリー『トゥ・ランド』					

11/28(土) ～ 12/4(金)

	11/28(土)	29(日)	30(月)	12/2(土)	3(木)	4(金)
10:30	『ブロークン・ヴォイス』					
12:30	『３６７０』					
14:50	『百姓、わらう。』					
17:20	『京都 ALS 患者嘱託殺人事件』					
19:10	①山の焚火	②我ら山人たち	③緑の山	『東京上空 300 メートル』		

ご入場料金・入替制

一般 1800 円　大学生・会員 1400 円　高校生以下 1000 円　シニア(60 歳以上)1300 円
障がい者・会員(シニア・学生)1100 円　ペア割(2 名)2800 円
○会員サービスディ：木曜日　会員・障がい者 1000 円・会員 1 名とのペア(2 名)2000 円
○ファーストディ　一般 1200 円　会員・障がい者 1000 円
〈イメージフォーラム・フェスティバル 2026〉
《1 回券》一般 1500 円　シニア 1300 円　学生・障がい者・会員 1000 円
《4 回券》4000 円 ※期間中、窓口販売いたします。

会員募集

お申込日から 1 年有効で 2000 円。
会員特典は当日ご料金の割引きのみになります。
受付は劇場窓口にてお願いいたします。

『マイ・リトル・クイーンズ』

3 作品 / 入替

90 年代初頭 A・フジモリ政権下のペルーの首都リマ。経済危機と夜間戒厳令を危惧したエレナは娘のアウロラとルシアを連れ、3 週間後の米国移住を決めている。娘たちの出国には離婚した夫カルロスの同意が必要だが呑気で職業不詳、神出鬼没の元夫に振り回されていく…。レイニケ監督の自伝的作品でありこころ豊かに暮らしてきた一族の結束を繊細に描写する好感度の高い傑作。国内外、ベルリン、スイスなどでも映画賞受賞。(104 分)

生誕 120 年　ジョン・ヒューストン特集

4 作品 / 入替

一昨年の特集でも大好評を博したジョン・ヒュー ストン監督。破天荒な人生、そしてあまりにもジャンルを選ばない作風で捉えどころがない巨星の特集企画。H・ボガード&K・ヘップバーンのロマンティック・アクション・コメディ**『アフリカの女王』**(106 分)、画家ロートレックの涯を描く**『赤い風車』**(120 分)、フラナリー・オコナーの原作を元に、神なき時代の宗教の問題を提起した異色作**『ワイズ・ブラッド』**(107 分)、極度のアルコール依存を抱える元イギリス領事のメキシコでの破滅的な日々を綴る**『火山のもとで』**(112 分) とハズレなきセレクション。

『東京上空 300 メートル』

東京都心のド真ん中にある米軍基地、赤坂プレスセンター。高層ビルの谷間に作られたヘリポートに頻繁に離発着する米軍のヘリコプター。ビルの隙間を縫うように超低空で渋谷や新宿の空を闊歩する事態の異常さを細かく映像記録し、日本の航空法規が蔑ろにされている事実を明らかにし、アメリカと日本の関係に大きく踏み込む調査報道シリーズ「特権を問う」を連載した毎日新聞取材陣が、その膨大な映像をドキュメンタリー映画に仕上げた。主権とは何か。立場を問わず必見というべき問題作。(110 分)

イメージフォーラム・フェスティバル 2026

12 プログラム / 入替

第 40 回を迎える映像表現の祭典。今注目されているアヴァンギャルドなマリー・ロジエ特集〈G・H〉、鬼才マカヴェイエフも属した旧ユーゴのアンダーグラウンド特集〈J〉、メキシコで結成され映像の支配的な在り方をラディカルに問うロス・イングラビドス特集〈K1・K2〉、新旧のテクノロジーが交錯する〈M〉。そして東アジア・エクスペリメンタル・コンペティションでは、帯谷有理、幸洋子、和田淳と共に映像の最前線を臨む〈A～E〉。また、ふくだぺろ、竹原結作品など日本の実験映画を特集〈F〉。

『京都 ALS 患者嘱託殺人事件』

京都出身の ALS(筋委縮性側索硬化症) 患者で 24 時間介助が必要だった林優里さんから依頼され薬物を投与し殺害したとして 2020 年 7 月、二人の医師が逮捕された。捜査過程は生命軽視、優生思想に組する姿勢への推測もあり大きく報じられた。和歌山毒物カレー事件に挑んだ『マミー』の二村真弘監督が、林さんと医師それぞれの家族を訪ね、林さんを知る元看護師や難病当事者、医療とケアの専門家たちへの取材を重ね、かつて夢に輝いていた林さん自らが望んだ「安楽死」から、生存の自由について考察する傑作ドキュメンタリー映画。(98 分)

『まさゆめ』

ダンサーとしてはもちろん、『ほったまるびより』『shari』など映像作家としても多彩な活躍を見せるパフォーマー、吉開菜央。小田香監督の『Underground』での印象的な存在感も忘れがたい。

本作は、心身のバランスを崩した吉開が、禅寺での修行を契機に、食べることや眠ることなど極めて日常的なことと向き合い、自分自身を見つめ直す過程を記録し構成したセルフドキュメンタリーだ。現実と心象風景が錯綜するも、混沌のままに自身を探るプロセスは感動的。愛知県美術館オリジナル映像作品。(110 分)

Fire in Water
永田康祐 映像作品集

2 プロ / 日替

食べることなど身近な営みを手がかりに、人間と世界の関係を問い続ける永田康祐映像作品集。

A プロ　マッコリから発酵と地域文化を結ぶ『Fire in Water』、ティラピアから日本とタイの関係を考察する『Fish of Empire』、捕虜収容所の脱走事件からオーストラリアと日本の歴史を探る『Suddenly This Overview』。(計 78 分)

B プロ　フランス料理技法ピュレの歴史から政治性をも見出す『Purée』、サーモン養殖場を異色のアニメーションで描く『鮭になる』、チャーハンから多文化の派生を見る『Translation Zone』。(計 76 分)

『百姓、わらう。』

『百姓の百の声』などで日本の農業を見つめ、その未来を志向する柴田昌平監督最新ドキュメンタリーは、若い世代に注目する。日本の農業従事者の平均年齢は 67 歳を越え、そのうちで 49 歳以下は全体のわずか 1 割。日本の人口に換算するとわずか 0.1%。常々悲観的な話題として取り沙汰される数字のイメージを、本作は鮮やかに塗り替える。実際に若手農業従事者に取材を重ね、まったく異なる経験の上で就農した彼らが、困難を抱えつつも、充実した表情を見せながら未来を語る姿は可能性のひとつを見せてくれる。(138 分)

『３６７０』

北朝鮮から来たチョルジュン (チョ・ユヒョン) は脱北者仲間にもゲイであることを告白できず都市ソウルで行きずりの関係に身をゆだねてきた。偶然参加した活気あふれるゲイ・コミュニティで物怖じしない青年ヨンジュンと出会うが…。自由で孤独な都会の生活によぎる北への複雑なこころの機微を、本作が長編デビューで脱北支援ボランティア体験をもつパク・ジュンホ監督が丁寧に構築する傑作品。本年度百想芸術大賞映画部門の新人監督賞受賞。(124 分)

『トゥ・ランド』

90 年代から世紀の変わり目を越えて、アメリカインディーズシーンを軽やかに駆け抜けたハル・ハートリー監督。コロナ禍での制作中止という苦難を乗り越えての、11 年ぶりの最新作。

初老の映画監督が半引退を決意し、教会のとある仕事の求人に応募する。やや気の早い、ささやかな終活は、彼の仲間たちに小さな波紋を投げかけ、思いがけない広がりを見せる。

ごく小さな世界での、ごく小さな喜びや悲しみを優しく受け止め、慈しむように映画にしてきたハートリーならではの逸品。(74 分)

『ブロークン・ヴォイス』

民主化後のチェコで 2000 年に発覚したプラハの名門少年少女合唱団「バンビーニ・ディ・プラハ」の性的虐待事件から着想された作品。13 歳の主人公ヴァレリエは姉の後を追って合唱団に入団し、米国ツアーをめざす厳しい練習と競争の中で頭角を現わしていく。選ばれることだけが誇りであり成功への近道だった…。ライブ録音された合唱の妙なる響きのもとで残酷な状況へと導いていく犯罪性の重さを主人公からの視点でとらえていく。(106 分)

フレディ・M・ムーラー マウンテン・トリロジー

日本最終上映　3 作品 / 日替

スイスを代表する映画作家による 3 作品を日本最終上映となる今月末に連続上映します。映像美でも名高い劇映画**『山の焚火』**(119 分) とその原案のドキュメンタリー**『我ら山人たち - われわれ山国の人間が山間に住むのは、われわれのせいではない』**(112 分)、核のゴミ処理建設をめぐり分裂する人々を描くドキュメンタリー映画**『緑の山』**(134 分)。

next arts 通信

飛騨千光寺 円空仏寺宝館

秋晴れのある日、東京で観た円空展のことを思い出して、高山の千光寺へ。これまで多くの円空展が開催されてきたが、2013 年の東京国立博物館での特別展「飛騨の円空―千光寺とその周辺の足跡―」が印象深い。昨年の三井記念美術館での「魂を込めた円空仏―飛騨・千光寺を中心にして―」も同様に、メインビジュアルに使われているのが、二つの顔で斧を持った《両面宿儺坐像》である。

千光寺は 1600 年前に両面宿儺によって開山、1200 年前に真如親王によって真言密教の寺として建立されたと伝わる。生涯で 12 万体の仏像を彫ったという円空は、江戸中期に千光寺に滞在し、飛騨各地を巡った。63 体もの像が収蔵されている「円空仏寺宝館」は、まさに円空ファンの聖地とも言えるだろう。

ちなみに「両面宿儺 (りょうめんすくな)」は、『日本書紀』では朝廷に反逆する異形の豪族として記され、飛騨地方では武勇にすぐれた英雄、農耕の指導者として伝承されている。また最近では人気マンガ『呪術廻戦』に史上最強最悪の呪いの王として登場して有名になっているとか。土・日・祝日に開館 (12 月～ 3 月は冬期休館) なので、11 月の紅葉時期をおすすめしたい。

【トトち】

無知の知

(その 17) ミラーライフ (鏡像生命) の登場

１０月７日、日本の砂合憲三教授のノーベル化学賞受賞でマスコミは沸いている。砂合教授とフランスのアンリ・B・カガン教授は、自然界に存在する有機化合物が右回りか、左回りのどちらか片方であるメカニズムと、自然界には無い反対方向の有機物を合成する方法を開発した。通常、人工的に有機物を合成すると、両者が混じった物質が出来る。しかし、自然界には片方の構造体しか存在しない。例えば、遺伝子 DNA は２本の鎖からなる右回りのラセン構造で出来ている。遺伝子が作る蛋白質はアミノ酸がつながった左回りの鎖からなる。自然界で何故片方の分子しかないのかはまだ未解明である。しかし、今回の発見を利用して新たな産業にしようという動きは始まっている。左回りの DNA や右回りの蛋白質の合成である。既に数千個の塩基やアミノ酸がつながった DNA や蛋白質の合成が可能になった。これらを使って自然界の生命とは反対の分子を持つ生命体 (鏡像生命、ミラーライフ) の合成が目標である。しかし、この技術には大きな問題がある。自己増殖出来るミラーライフのウイルスや細菌がヒトに感染した場合、既存の医薬品やワクチンは効かない。ヒトの免疫も効かない恐れがある。生物兵器も可能である。２０２４年に科学雑誌 Science に世界の科学者３８名が「ミラーライフの合成を直ちに中止すべきだ」と共同声明を発表した。しかし産業界は新たな産業につながる、と研究を進めている。さてどうなる。

(MK)

あいまい、まいにち、こんにちは

栄の街中にある、愛知芸術文化センター。2 階の大ホール入口前に「フォーラム」と呼ばれる広々としたオープンスペースがある。天井は 12 階まで吹き抜けになっており、見上げれば、上階へと続くエスカレーターや、吊り下げられた巨大なオブジェが目に入る。また、大きなガラス張りの窓からは、栄のビル群を一望することができる。開放感がある空間だが、隣接する商業施設「オアシス 21」のオープンスペースとは違った、不思議な落ち着きがある独特な空間だ。

そんなフォーラムで、先日『AICHI NEXT : Performing Arts Project〈Challenge stage A〉』の作品を観た。まず 1 つは、鳥居ひろみきさんのディアボロと、野口桃江さんの心音 (こころね) ピアノによるコラボレーション作品だ。ディアボロはお祭りの大道芸というイメージをもっていたが、そうした印象と異なる、美しさと、繊細さがあった。ピアノの音色が、空間と、身体に静かに響いて、溶け込むような瞬間があった。とても不思議なコラボレーションだった。そして、武田摩耶さん、禹泰旭さんのダンス作品は、司会者がお二人からのメッセージを読み上げるところからはじまる。気が付くとダンサーが観客のあいだに静かに現れ、音が流れ、いつの間にか作品世界へ引き込まれていく。鑑賞中に、徐々に日が落ち、空間の表情が変わっていくのも魅力的だった。

〈Challenge stage B〉の 4 作品は、11 月 21 日～22 日にかけて、愛知県芸術劇場小ホールにて上演される。それぞれ今までに出会ったことのない作品を観ることができそうで楽しみだ。

(i)

ウニタ書店情報 (052-731-1380)

戦争犯罪や人道に対する罪など重大な罪を犯した個人の刑事責任を追及する国際機関の国際刑事裁判所 (ＩＣＣ) が、今や存続の危機に直面している。

第二次世界大戦後、ニュルンベルク裁判、東京極東裁判で戦争責任が追及されたが、それは戦勝国が敗戦国を一方的に裁いたものだった。その後、国連での議論を経て、1998 年に国際機関として設立されたのがＩＣＣであった。国際法に基づき、戦争犯罪などを公正に裁く機関として活動してきたが、プーチン大統領に続いて、イスラエルのネタニヤフ首相に逮捕状を発付したことで、トランプ大統領が所員だけでなく、所長にまで制裁を課すまでに至っている。所長が赤根智子氏であることもあって、メディアも大きく取り上げるようになってきた。

昨年６月に刊行された赤根氏の著書「**戦争犯罪と闘う**」(文春新書) は、こうした状況の中で、ＩＣＣの存在意義を明らかにし、外部からの圧力に屈することなく、国際法に基づく「法による支配」を貫いていく強い決意を綴っている。最大の資金拠出国でありながら、制裁に抗議もせず、「残念」の一言で済ましている日本政治の貧困を思い知らされるばかりである。

いなかのじけん

ミツバチのささやき

田んぼの畔にツユクサがはびこっている。刈らなきゃと思ったが、ぶんぶんとミツバチの羽音がする。この青い花に誘われて来ている。えっ、こんな小っちゃな花に、しかも朝も早うから。蜜とれるのかしらん。草刈りを断念する。シロツメクサにもミツバチがいて、草刈りをあきらめた事がある。小松菜などアブラナ科は、葉っぱを食べ、菜の花も食べ、いよいよ花盛りになったので、さてご苦労様、刈ってやろうとすると、ミツバチがぶんぶんだ。やっぱり刈れない。でも邪険にしてはならない。野菜・果物の受粉に彼らは欠かせない。広葉樹の蜜も集めている。「栃の実煎餅のトチの木の蜜でございます。」ハチミツ専門店にいうっかり足を踏み入れると、小瓶でン千円もするハチミツを勧められたりする。そっと去る。

蜂群崩壊症候群、こんな恐ろしい言葉が世界を徘徊している。働きバチが巣に帰れなくなり、結果、食べ物が無くなりミツバチの巣が崩壊する。ヨーロッパでは、その原因ではないかと疑われているネオニコチノイド系農薬に規制がかかっている。でも日本では野放しだ。この農薬は昆虫の神経系を混乱させる (脊椎動物には効かないとされている)。水溶性で植物に取り込まれ長時間有効、で、それを食した昆虫をやっつける。悪いカメムシもやっつけるが、ミツバチもやっつける。もしミツバチがいなくなったら。野菜・果物・木の実は採れなくなり、山のどんぐりも消え、熊、猪は町中を跳梁跋扈、山はいずれ禿山に、そして大雨で崩壊。ハチと共に我らも散りぬるを、わかよたれそつねならむ。

イメージフォーラム・フェスティバル 2026

12 プログラム / 入替

第 40 回を迎える映像表現の祭典。今注目されているアヴァンギャルドなマリー・ロジエ特集〈G・H〉、鬼才マカヴェイエフも属した旧ユーゴのアンダーグラウンド特集〈J〉、メキシコで結成され映像の支配的な在り方をラディカルに問うロス・イングラビドス特集〈K1・K2〉、新旧のテクノロジーが交錯する〈M〉。そして東アジア・エクスペリメンタル・コンペティションでは、帯谷有理、幸洋子、和田淳と共に映像の最前線を臨む〈A～E〉。また、ふくだぺろ、竹原結作品など日本の実験映画を特集〈F〉。

『京都 ALS 患者嘱託殺人事件』

京都出身の ALS(筋委縮性側索硬化症) 患者で 24 時間介助が必要だった林優里さんから依頼され薬物を投与し殺害したとして 2020 年 7 月、二人の医師が逮捕された。捜査過程は生命軽視、優生思想に組する姿勢への推測もあり大きく報じられた。和歌山毒物カレー事件に挑んだ『マミー』の二村真弘監督が、林さんと医師それぞれの家族を訪ね、林さんを知る元看護師や難病当事者、医療とケアの専門家たちへの取材を重ね、かつて夢に輝いていた林さん自らが望んだ「安楽死」から、生存の自由について考察する傑作ドキュメンタリー映画。(98 分)

『まさゆめ』

ダンサーとしてはもちろん、『ほったまるびより』『shari』など映像作家としても多彩な活躍を見せるパフォーマー、吉開菜央。小田香監督の『Underground』での印象的な存在感も忘れがたい。

本作は、心身のバランスを崩した吉開が、禅寺での修行を契機に、食べることや眠ることなど極めて日常的なことと向き合い、自分自身を見つめ直す過程を記録し構成したセルフドキュメンタリーだ。現実と心象風景が錯綜するも、混沌のままに自身を探るプロセスは感動的。愛知県美術館オリジナル映像作品。(110 分)

Fire in Water
永田康祐 映像作品集

2 プロ / 日替

食べることなど身近な営みを手がかりに、人間と世界の関係を問い続ける永田康祐映像作品集。

A プロ　マッコリから発酵と地域文化を結ぶ『Fire in Water』、ティラピアから日本とタイの関係を考察する『Fish of Empire』、捕虜収容所の脱走事件からオーストラリアと日本の歴史を探る『Suddenly This Overview』。(計 78 分)

B プロ　フランス料理技法ピュレの歴史から政治性をも見出す『Purée』、サーモン養殖場を異色のアニメーションで描く『鮭になる』、チャーハンから多文化の派生を見る『Translation Zone』。(計 76 分)

『百姓、わらう。』

『百姓の百の声』などで日本の農業を見つめ、その未来を志向する柴田昌平監督最新ドキュメンタリーは、若い世代に注目する。日本の農業従事者の平均年齢は 67 歳を越え、そのうちで 49 歳以下は全体のわずか 1 割。日本の人口に換算するとわずか 0.1%。常々悲観的な話題として取り沙汰される数字のイメージを、本作は鮮やかに塗り替える。実際に若手農業従事者に取材を重ね、まったく異なる経験の上で就農した彼らが、困難を抱えつつも、充実した表情を見せながら未来を語る姿は可能性のひとつを見せてくれる。(138 分)

『３６７０』

北朝鮮から来たチョルジュン (チョ・ユヒョン) は脱北者仲間にもゲイであることを告白できず都市ソウルで行きずりの関係に身をゆだねてきた。偶然参加した活気あふれるゲイ・コミュニティで物怖じしない青年ヨンジュンと出会うが…。自由で孤独な都会の生活によぎる北への複雑なこころの機微を、本作が長編デビューで脱北支援ボランティア体験をもつパク・ジュンホ監督が丁寧に構築する傑作品。本年度百想芸術大賞映画部門の新人監督賞受賞。(124 分)

『トゥ・ランド』

90 年代から世紀の変わり目を越えて、アメリカインディーズシーンを軽やかに駆け抜けたハル・ハートリー監督。コロナ禍での制作中止という苦難を乗り越えての、11 年ぶりの最新作。

初老の映画監督が半引退を決意し、教会のとある仕事の求人に応募する。やや気の早い、ささやかな終活は、彼の仲間たちに小さな波紋を投げかけ、思いがけない広がりを見せる。

ごく小さな世界での、ごく小さな喜びや悲しみを優しく受け止め、慈しむように映画にしてきたハートリーならではの逸品。(74 分)

『ブロークン・ヴォイス』

民主化後のチェコで 2000 年に発覚したプラハの名門少年少女合唱団「バンビーニ・ディ・プラハ」の性的虐待事件から着想された作品。13 歳の主人公ヴァレリエは姉の後を追って合唱団に入団し、米国ツアーをめざす厳しい練習と競争の中で頭角を現わしていく。選ばれることだけが誇りであり成功への近道だった…。ライブ録音された合唱の妙なる響きのもとで残酷な状況へと導いていく犯罪性の重さを主人公からの視点でとらえていく。(106 分)

フレディ・M・ムーラー マウンテン・トリロジー

日本最終上映　3 作品 / 日替

スイスを代表する映画作家による 3 作品を日本最終上映となる今月末に連続上映します。映像美でも名高い劇映画『**山の焚火**』(119 分) とその原案のドキュメンタリー『**我ら山人たち - われわれ山国の人間が山間に住むのは、われわれのせいではない**』(112 分)、核のゴミ処理建設をめぐり分裂する人々を描くドキュメンタリー映画『**緑の山**』(134 分)。

next arts 通信

飛騨千光寺 円空仏寺宝館

秋晴れのある日、東京で観た円空展のことを思い出して、高山の千光寺へ。これまで多くの円空展が開催されてきたが、2013 年の東京国立博物館での特別展「飛騨の円空―千光寺とその周辺の足跡―」が印象深い。昨年の三井記念美術館での「魂を込めた円空仏―飛騨・千光寺を中心にして―」も同様に、メインビジュアルに使われているのが、二つの顔で斧を持った《両面宿儺坐像》である。

千光寺は 1600 年前に両面宿儺によって開山、1200 年前に真如親王によって真言密教の寺として建立されたと伝わる。生涯で 12 万体の仏像を彫ったという円空は、江戸中期に千光寺に滞在し、飛騨各地を巡った。63 体もの像が収蔵されている「円空仏寺宝館」は、まさに円空ファンの聖地とも言えるだろう。

ちなみに「両面宿儺 (りょうめんすくな)」は、『日本書紀』では朝廷に反逆する異形の豪族として記され、飛騨地方では武勇にすぐれた英雄、農耕の指導者として伝承されている。また最近では人気マンガ『呪術廻戦』に史上最強最悪の呪いの王として登場して有名になっているとか。土・日・祝日に開館 (12 月～ 3 月は冬期休館) なので、11 月の紅葉時期をおすすめしたい。

【トトち】

無知の知

(その 17) ミラーライフ (鏡像生命) の登場

１０月７日、日本の砂合憲三教授のノーベル化学賞受賞でマスコミは沸いている。砂合教授とフランスのアンリ・B・カガン教授は、自然界に存在する有機化合物が右回りか、左回りのどちらか片方であるメカニズムと、自然界には無い反対方向の有機物を合成する方法を開発した。通常、人工的に有機物を合成すると、両者が混じった物質が出来る。しかし、自然界には片方の構造体しか存在しない。例えば、遺伝子 DNA は２本の鎖からなる右回りのラセン構造で出来ている。遺伝子が作る蛋白質はアミノ酸がつながった左回りの鎖からなる。自然界で何故片方の分子しかないのかはまだ未解明である。しかし、今回の発見を利用して新たな産業にしようという動きは始まっている。左回りの DNA や右回りの蛋白質の合成である。既に数千個の塩基やアミノ酸がつながった DNA や蛋白質の合成が可能になった。これらを使って自然界の生命とは反対の分子を持つ生命体 (鏡像生命、ミラーライフ) の合成が目標である。しかし、この技術には大きな問題がある。自己増殖出来るミラーライフのウイルスや細菌がヒトに感染した場合、既存の医薬品やワクチンは効かない。ヒトの免疫も効かない恐れがある。生物兵器も可能である。２０２４年に科学雑誌 Science に世界の科学者３８名が「ミラーライフの合成を直ちに中止すべきだ」と共同声明を発表した。しかし産業界は新たな産業につながる、と研究を進めている。さてどうなる。

(MK)

あいまい、まいにち、こんにちは

栄の街中にある、愛知芸術文化センター。2 階の大ホール入口前に「フォーラム」と呼ばれる広々としたオープンスペースがある。天井は 12 階まで吹き抜けになっており、見上げれば、上階へと続くエスカレーターや、吊り下げられた巨大なオブジェが目に入る。また、大きなガラス張りの窓からは、栄のビル群を一望することができる。開放感がある空間だが、隣接する商業施設「オアシス 21」のオープンスペースとは違った、不思議な落ち着きがある独特な空間だ。

そんなフォーラムで、先日『AICHI NEXT：Performing Arts Project〈Challenge stage A〉』の作品を観た。まず 1 つは、鳥居ひろみきさんのディアボロと、野口桃江さんの心音 (こころね) ピアノによるコラボレーション作品だ。ディアボロはお祭りの大道芸というイメージをもっていたが、そうした印象と異なる、美しさと、繊細さがあった。ピアノの音色が、空間と、身体に静かに響いて、溶け込むような瞬間がある。とても不思議なコラボレーションだった。そして、武田摩耶さん、禹泰旭さんのダンス作品は、司会者がお二人からのメッセージを読み上げるところからはじまる。気が付くとダンサーが観客のあいだに静かに現れ、音が流れ、いつの間にか作品世界へ引き込まれていく。鑑賞中に、徐々に日が落ち、空間の表情が変わっていくのも魅力的だった。

〈Challenge stage B〉の 4 作品は、11 月 21 日～ 22 日にかけて、愛知県芸術劇場小ホールにて上演される。それぞれ今までに出会ったことのない作品を観ることができそうで楽しみだ。

(i)

ウニタ書店情報 (052-731-1380)

戦争犯罪や人道に対する罪など重大な罪を犯した個人の刑事責任を追及する国際機関の国際刑事裁判所 (ＩＣＣ) が、今や存続の危機に直面している。

第二次世界大戦後、ニュルンベルク裁判、東京極東裁判で戦争責任が追及されたが、それは戦勝国が敗戦国を一方的に裁いたものだった。その後、国連での議論を経て、1998 年に国際機関として設立されたのがＩＣＣであった。国際法に基づき、戦争犯罪などを公正に裁く機関として活動してきたが、プーチン大統領に続いて、イスラエルのネタニヤフ首相に逮捕状を発付したことで、トランプ大統領が所員だけでなく、所長にまで制裁を課すまでに至っている。所長が赤根智子氏であることもあって、メディアも大きく取り上げるようになってきた。

昨年６月に刊行された赤根氏の著書「**戦争犯罪と闘う**」(文春新書) は、こうした状況の中で、ＩＣＣの存在意義を明らかにし、外部からの圧力に屈することなく、国際法に基づく「法による支配」を貫いていく強い決意を綴っている。最大の資金拠出国でありながら、制裁に抗議もせず、「残念」の一言で済ましている日本政治の貧困を思い知らされるばかりである。

いなかのじけん

ミツバチのささやき

田んぼの畔にツユクサがはびこっている。刈らなきゃと思ったが、ぶんぶんとミツバチの羽音がする。この青い花に誘われて来ている。えっ、こんな小っちゃな花に、しかも朝も早うから。蜜とれるのかしらん。草刈りを断念する。シロツメクサにもミツバチがいて、草刈りをあきらめた事がある。小松菜などアブラナ科は、葉っぱを食べ、菜の花も食べ、いよいよ花盛りになったので、さてご苦労様、刈ってやろうとすると、ミツバチがぶんぶんだ。やっぱり刈れない。でも邪険にしてはならない。野菜・果物の受粉に彼らは欠かせない。広葉樹の蜜も集めている。「栃の実煎餅のトチの木の蜜でございます。」ハチミツ専門店についうっかり足を踏み入れると、小瓶でン千円もするハチミツを勧められたりする。そっと去る。

蜂群崩壊症候群、こんな恐ろしい言葉が世界を徘徊している。働きバチが巣に帰れなくなり、結果、食べ物が無くなりミツバチの巣が崩壊する。ヨーロッパでは、その原因ではないかと疑われているネオニコチノイド系農薬に規制がかかっている。でも日本では野放しだ。この農薬は昆虫の神経系を混乱させる (脊椎動物には効かないとされている)。水溶性で植物に取り込まれ長時間有効、で、それを食した昆虫をやっつける。悪いカメムシもやっつけるが、ミツバチもやっつける。もしミツバチがいなくなったら。野菜・果物・木の実は採れなくなり、山のどんぐりも消え、熊、猪は町中を跳梁跋扈、山はいずれ禿山に、そして大雨で崩壊。ハチと共に我らも散りぬるを、わかよたれそつねならむ。

ナゴヤ
キネマ・
ノイ
NAGOYA
KINEMA
NEU
協力店

みその皮膚科医院
Misono Dermatology Clinic
［ 院内処方 / 保険診療 ］
診療時間
午前 10 時～13 時・午後 15 時～20 時
毎週土曜・日曜・祝日休診
地下鉄伏見駅10番出口より徒歩2分
052-232-2214
http://www.misonohifu.com/

BAR
パ・リカ
(円頓寺 Les piliers 併設)
演劇、映画、アート、音楽をつまみに
名古屋市西区那古野一丁目18-2
090-1620-4591(加藤)
国際センター駅②出口から徒歩5分
丸の内駅⑧出口から徒歩8分
不定休
詳細はX@perkypat1962

GOOD BOOZE CHEAP FOODS & HIP MUSIC
Takuzo は
朝までやってる
呑み屋である。
052-733-3709
年中無休 pm6:00～am5:00
シネマテークより北、広小路通へ
抜ける手前の青いビル 2F
open house
Analog Record と
Restaurant Bar
052-753-4300
火曜定休 pm6:00～am1:00
シネマテークより東、環状線に
抜けた角、中屋パン地下 1F

JAZZ
MATILDA
DRINK & FOOD


気軽に入れる小さなお店です
お一人様大歓迎。 日・月曜定休 席料¥500
オーダー¥300～ 営業時間19:00～24:00
名古屋市中区栄三丁目9番22号グランドビル5F
☎052-263-6272

パンクをしたら
DAISY
052-228-0977
急ぎの荷物も当日お届け！
自転車便・自転車出張修理
デイジーメッセンジャー
名古屋市中区新栄 2-2-19

Hair Salon VARIÉTÉ
WEB: http://variete.hp4u.jp
ヘアサロン バリエテ
営業時間
平日11:00～21:00 土日祝10:00～19:00
定休日
月曜・第3月火曜連休
千種区池下1-6-20 ☎751-7774
(チサンマンション池下203号) 1Fに「ドゥリエール」のあるビル

bookshop & gallery
ON READING
www.onreading.jp
on_reading
地下鉄東山公園駅２番出口より徒歩１分
感じる、考えるひとのための本屋

おかげさまで19周年
女性専門
からだほぐし＆足つぼ
みずたま

10:00-20:00
火曜・第1/3水曜休
本山駅６番出口すぐ
052-781-8239



SHIMAUMA BOOKS
シマウマ書房
ナゴヤキネマ・ノイから東へ
徒歩５分。古本屋です。
名古屋市千種区今池 5-14-3
11:00－18:00
定休日 火水
www.shimauma-books.com

アンティーク・リサイクル着物&カフェ
らんまる 蘭丸で

ウール400円～、正絹小紋2500円～
名古屋帯2500円～、半幅帯300円～
小物やオリジナル商品もございます。
キネマ・ノイより、南へ徒歩2分
052-735-6053
p.m.1:00～7:00 / 火曜・水曜定休
名古屋市千種区今池3-2-9ママビルディング1階

骨董・古書・美術品

これれば
鑑定・買取
昭和区桜山
☎052-853-1961

静寂の珈琲店
読書珈琲リチル

地下鉄今池駅徒歩1分



まずは、お試し野菜セットから
お申込みはホームページ / お電話で
tel 052-851-7200
くらしを耕す会 検索

天然酵母パンとお野菜中心のお昼ごはん
鞠奴パン食堂

●営業日／木・金曜日 am11時半～pm4時
緑区鳴海町鉾の木31-2 TEL080(4301)3102
鍼灸「ハリのむしろ」も併設

中国伝統鍼灸・冷えとり健康法
帰来堂
鍼灸療院
地下鉄池下駅1番出口すぐ
9:30-18:30(最終受付) 不定休
052-752-7817(予約制)kiraido.com
千種区池下1-11-7 MEビル202

おもしろ 楽し
三味線教室
無料体験しませんか
清元美哉廣
090-6369-7795
otanesan9@gmail.com
桜山駅近く


群れない魂の止まり木
星屑珈琲
静かな夜型喫茶

ナゴヤキネマ・ノイから168歩
本と酒
ANZAI COVE'n DOCK
安西コーブンドー
19時～27時
不定休



新しい才能・人材の発掘！
AICHI NEXT
Performing Arts Project
Challenge stage B
ジャンルの異なる多彩な4作品を一挙上演
11月21日(土)-22日(日)
愛知県芸術劇場 小ホール
詳細はこちら
お問合せ 愛知県芸術劇場 052-211-7552 Email: contact@aaf.or.jp

印刷のことなら何でもご相談ください。
もくもくさん
http://mokumoku.asia
名古屋市瑞穂区 tel 052-852-7611


名古屋シネマテークの
支配人平野勇治の遺稿集
平野勇治 著
安住恭子 発行
小さな映画館から
1650 円 (税込)
ウニタ書店・ナゴヤキネマ・ノイで販売中

たまさかの古本屋
シマウマ書房の日々

鈴木 創 著
2200 円 (税込)
亜紀書房／発行
１２月９日発売 各書店にて

Free Palestine!

私たちにできること